



文教大学

国際交流ガイド2020

発行日：2020年4月1日

発行：文教大学国際交流センター

世界を見る、
気づく、
変わる

国際交流活動の窓口

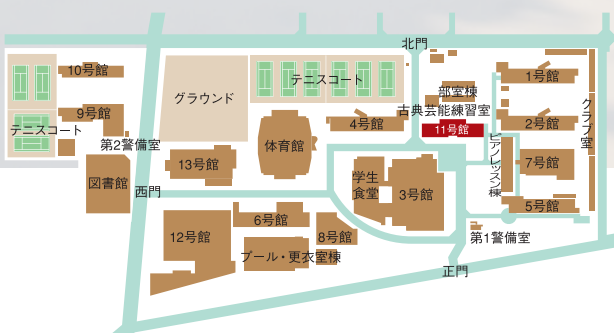
国際交流センター

国際交流室 [越谷キャンパス 11号館1階]

窓口取扱時間 月～金 9:00～16:30 / 土 9:00～11:30

〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

TEL. 048-974-8811 (代表番号)



国際交流センター

国際交流室 [湘南キャンパス 事務棟2階]

窓口取扱時間 月～金 9:00～16:40 / 土 9:00～11:30

〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100

TEL. 0467-53-2111 (代表番号)



国際交流センターホームページ

<https://www.bunkyo.ac.jp/international>

INTERNATIONAL
EXCHANGE
PROGRAMS

2020

国際交流ガイド



文教大学



留学をした今、思うこと。
伝えたいこと。



文教で学ぶ、海外で学ぶ。

こんにちは、国際交流センターです。

みなさんは「留学」や「海外研修」に対して、どのようなイメージを持っていますか？

自分自身を大きく成長させる、海外生活にあこがれる、貴重な体験が待っている、4年間で卒業できる？

ちょっと緊張する、お金が少し心配…、いろいろなイメージをもつ人がいると思います。

「なんとなく留学に興味はあるし、行ってみたいけれど、何から始めればいいのか、どうしたらいいのか

わからない」、「ちょっとしたアドバイスや経験者の言葉を聞いてみたい」

そのようなときは、各校舎の国際交流センター国際交流室に足を運んでみてください。

そして、何でも気軽に相談してください。

大学生としての貴重な4年間、文教大学での学びに加え、海外でも多くを学んでみませんか？

きっと、新しいあなたが見つかるはずです。

国際交流センターはみなさんを心からお待ちしています。

文教大学国際交流センター

文教大学のプログラムで海外に行こう！



文教大学公式マスコットキャラクター

BUNKO

文教大学のプログラムを利用するには？

文教大学入学

STEP
1

留学を意識して、4年間の過ごし方を考える

まずは所属学部・学科のカリキュラムや卒業までに必要な単位数を確認し、資格取得、卒業後の進路、課外活動、大学生活でやりたいこと・やらなければいけないことを整理しましょう。

出願・申込まで

STEP
2

プログラムに関する情報を収集する

プログラムごとの渡航先や期間、内容を知り、自分が希望する学びが実現できるプログラムを選択しましょう。

ここに注目！

文教大学では、各学部・学科の学びにあった内容の海外研修(クローズドプログラム)を用意しています。クローズドプログラムについてはP12~をご確認ください。

Check List

☒ 自分にとって「いつ」「どのくらいの期間」留学するのがよいのか、計画を立てる

☒ 国際交流ガイドや国際交流センターWebページを確認する

☒ 希望するプログラムの担当教員に話を聞く

☒ 所属校舎の国際交流センター国際交流室へ相談する

STEP
3

説明会に参加する

参加者の募集開始時には説明会を実施しています。希望するプログラムの説明会日時を確認し、必ず出席しましょう。

協定校派遣留学の場合、出願時までに取得しなくてはならない「語学資格」があります。言語によっては年に2回しか試験が実施されない場合もあるので、計画的に受験することをおすすめします。

出願／参加申込
※選考がある場合があります

STEP
4

具体的な渡航手続きを進める

事前オリエンテーションに参加し、留学に必要な手続きを進めましょう。

☒ 実施期間、内容、必要経費等を確認する

☒ 実際に参加した先輩の体験談を聞く

☒ 保証人様にも説明し、参加の了承を得る

☒ 出願／参加申込に必要な書類を準備する

☒ 語学試験の試験日程を確認する／必要な語学資格を取得する(主に協定校派遣留学の場合)

☒ パスポートや査証を取得する

☒ 病気やけがなど万が一の場合に備え、大学指定の海外旅行傷害保険に加入する

☒ 危機管理オリエンテーションで自分の身を守る術を身につけ、海外生活に備える

STEP
5

出発に向けた事前学習を進める

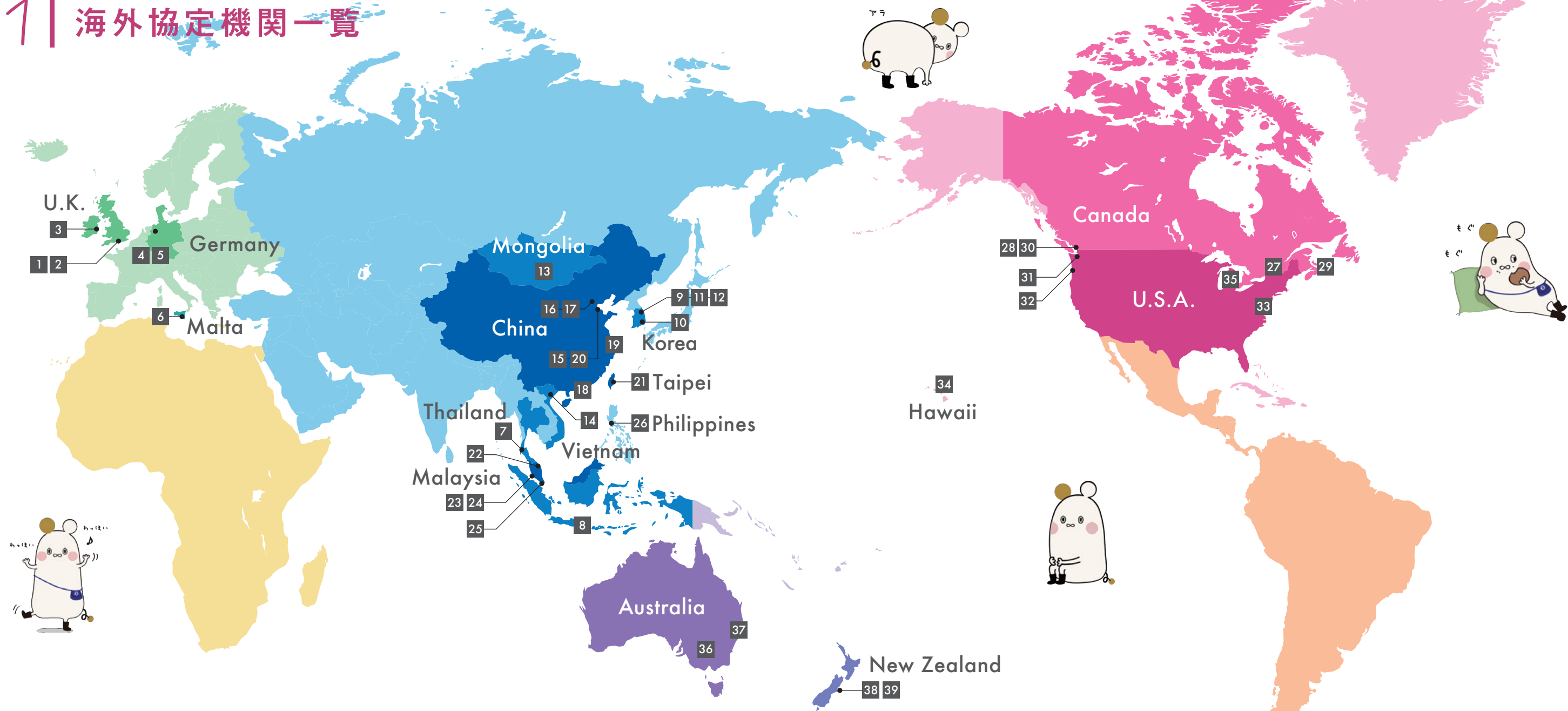
現地到着後、限られた時間を有効活用できるよう、日本にうちから学習を進めましょう。プログラムによっては事前学習が授業科目となっている場合もありますので、必ず出席してください。

☒ 出発まで学習を続け、語学力を向上させる

☒ 滞在先／渡航先の生活情報(気候や通貨、公共交通機関等の情報)を集める

☒ 留学先で学ぶ予定の専門知識をさらに深める

留学先へ出発！



欧州地域

	1	ギルフォード サリー大学 文学・言語学部 School of Literature and Languages, University of Surrey [Guildford]
	2	コヴェントリー ウォーリック大学 The University of Warwick [Coventry]
	3	ダブリン ダブリンシティ大学 付属語学学校 Dublin City University Language Services [Dublin]
	4	デュッセルドルフ デュッセルドルフ大学 Heinrich Heine University Düsseldorf [Düsseldorf]
	5	オズナブリュック オズナブリュック大学 社会科学部 School of Cultural Studies and Social Sciences, Institute of Social Sciences, Osnabrück University [Osnabrück]
	6	セントジュリアンズ ECマルタ EC Malta [St. Julian's]

アジア地域

	7	プーケット プリンスオブソングクラ大学 Prince of Songkla University [Phuket]
	8	バリ島デンパサール バリ情報科学大学 STIKOM-Bali [Denpasar, Bali]
	9	ソウル 韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies [Seoul]
	10	忠北陰城 韓国極東大学校 Far East University [Eumseong Chungbuk]
	11	ソウル 誠信女子大学校 Sungshin Women's University [Seoul]
	12	ソウル 漢陽大学 Hanyang University [Seoul]
	13	ウランバートル モンゴル国立科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology [Ulan Bator]

	14	ハノイ・ダナン FPT大学 FPT University [Hanoi+Da Nang]
	15	天津 南開大学 Nankai University [Tianjin]
	16	北京 北京大学 外国語学院 School of Foreign Languages, Peking University [Beijing]
	17	北京 北京外国語大学 Beijing Foreign Studies University [Beijing]
	18	珠海 北京師範大学珠海分校 Beijing Normal University, Zhuhai [Zhuhai]
	19	上海 華東師範大学 East China Normal University [Shanghai]
	20	廊坊 中国廊坊師範学院 外国語学部 Faculty of Foreign Language Department, Langfang Teachers University [Langfang]

	21	台北・高雄 実践大学 Shih Chien University [Taipei, Kaohsiung]
	22	シントク ウタラ大学 Northern University of Malaysia [Sintok]
	23	クアラルンプール アジアパシフィック大学 Asia Pacific University of Technology & Innovation [Kuala Lumpur]
	24	クアラルンプール UCSIカレッジ UCSI College [Kuala Lumpur]
	25	ジョホールバル マレーシア工科大学 University of Technology Malaysia [Johor Bahru]
	26	マニラ エンデラン大学 Enderun Colleges [Manila]

北米地域

	27	モントリオール マギル大学 McGill University [Montreal]
	28	バンクーバー ブリティッシュコロンビア大学付属語学学校 English Language Institute, The University of British Columbia [Vancouver]
	29	ノバスコシア EAP国際センター(ケープブレトン大学連携校) ICEAP, Cape Breton University Exclusive English Language Partner [Nova Scotia]
	30	バンクーバー ランガラカレッジ Langara College [Vancouver]

	31	リンウッド エドモンズコミュニティカレッジ Edmonds Community College [Lynnwood]
	32	コーバリス オレゴン州立大学 Oregon State University [Corvallis]
	33	チャールズ郡 チャールズ郡教育委員会 Charles County Board of Education [Charles County]
	34	ホノルル ハワイ大学マノア校 旅行産業経営学科 University of Hawaii at Manoa, School of Travel Industry Management [Honolulu]
	35	イーストランシング ミシガン州立大学付属語学センター English Language Center at Michigan State University [East Lansing]

太平洋地域

	36	メルボルン モナシュカレッジ Monash College [Melbourne]
	37	リスモア サザンクロス大学 Southern Cross University [Lismore]

	38	クライストチャーチ カンタベリー大学 University of Canterbury [Christchurch]
	39	クライストチャーチ クライストチャーチカレッジ (カンタベリー大学連携校) CCEL in partnership with University of Canterbury [Christchurch]

国名	全学協定	学部・研究科協定
英国	-	2
アイルランド	-	1
ドイツ	1	1
マルタ	-	1
カナダ	-	4
米国	2	3
オーストラリア	1	1
ニュージーランド	1	1
タイ	1	-
インドネシア	-	1
韓国	3	1
モンゴル	1	-
ベトナム	1	-
中国	4	2
台湾	1	-
マレーシア	1	3
フィリピン	-	1
計	17	22
合計	39	

(2020年4月1日現在)

02 国際交流プログラム&出発までのロードマップ



学部生向け		●…参加が可能		△…参加の可能性あり		越谷キャンパス			湘南キャンパス			実施時期		2020年												2021年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部	4月	5月	6月			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月	7～9月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
留学	Ⅰ 協定校派遣留学	P.8へ	●	●	●	●	●		●	2021年度 春学期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

全プログラム共通

- 海外留学保険説明会(加入必須)
- 危機管理オリエンテーションに必ず参加します!!

※詳しい時期については、追って連絡をします。



学部生向け協定校派遣留学について

文教大学の海外協定校のうち、下記の大学へ本学の学生を留学生として派遣する制度です。留学期間は本学の修業年限に加算され、派遣先で修得した単位として認定を受けることができるため、4年間で卒業することも可能です。学納金については、基本的に、留学先大学の授業料は免除、本学への授業料及び学籍維持費（2020年度9万円）の納入となります。（※1）

春学期募集

2021年度春学期出発

説明会開催：2020年1月・4月・5月頃

出願締切：2020年6月頃（※2）

国	派遣先大学名	派遣人数	留学期間	本学出願条件	派遣先大学受入条件（※3）
ニュージーランド	カンタベリー大学	1名以内	2021年2月から2セメスター	TOEFL-iBT 46点以上	(学部入学条件) TOEFL-iBT 80点以上（※4） (派遣先大学連携語学学校入学条件) TOEFL-iBT 46点以上（※5）
				IELTS 5.5 以上	(学部入学条件) IELTS 6.0以上（※4） (派遣先大学連携語学学校入学条件) IELTS 5.5 以上（※5）
ベトナム	FPT大学	2名以内（※6）	2021年5月から1または2セメスター	英検準2級以上 or TOEIC 500点以上 or TOEFL-iBT 45点以上	
ドイツ	デュッセルドルフ大学	2名以内	2021年4月から2セメスター	独検4級以上	独検3級以上（※7）
	韓国外国語大学校	各2名以内	2021年2月から1または2セメスター	韓国語能力試験を受験していること (未受験者は、同試験を受験すること)	韓国語能力試験を受験していること
	韓国極東大学校		2021年3月から2セメスター		
韓国	誠信女子大学校	2名以内（※6）	2021年2月から1または2セメスター		
	北京外国語大学	各2名以内（※6）	2021年2月から1または2セメスター		HSK 3級以上（※8）
	北京師範大学珠海分校				
中国	華東師範大学				

秋学期募集

2021年度秋学期出発

説明会開催：2020年7月・10月頃

出願締切：2021年1月頃

国	派遣先大学名	派遣人数	留学期間	本学出願条件	派遣先大学受入条件（※3）
ベトナム	FPT大学	2名以内（※6）	2021年9月から1セメスター	英検準2級以上 or TOEIC 500点以上 or TOEFL-iBT 45点以上	
米国	エドモンズコミュニティカレッジ	3名以内	2021年9月から1セメスター	TOEFL-iBT54点以上 or 英検2級A以上	
韓国	誠信女子大学校	2名以内（※6）	2021年8月から1または2セメスター	韓国語能力試験を受験していること (未受験者は、同試験を受験すること)	韓国語能力試験を受験していること
	南開大学	2名以内	2021年9月から2セメスター		
中国	北京外国語大学	各2名以内（※6）	2021年9月から1または2セメスター		HSK 3級以上（※8）
	北京師範大学珠海分校				
	華東師範大学				

（※1）エドモンズコミュニティカレッジは、本学に学籍維持費のみを納入し、かつ留学先に授業料を納入します。

（※2）1年生は春学期募集に出願できません。

（※3）派遣先大学の入学条件である語学力のスコアは、予告なく変更される場合があります。上記は、2020年1月現在の情報です。相手先大学が入学条件を変更した場合、派遣先大学が指定する語学力の基準を満たさなければ相手先大学に留学が認められません。

（※4）TOEFLまたはIELTSの各セクションにスコアの最低基準が設けられています。

（※5）カンタベリー大学連携語学学校であるCCEL(Christchurch College of English)に留学します(費用は自己負担)。CCELから留学を開始する場合、留学開始時期は、2021年3月となります。カンタベリー大学入学基準をクリアした場合は、カンタベリー大学学部正規科目を履修することが可能となります。

（※6）派遣人数は春学期と秋学期合わせて計2名以内です。春学期に派遣者数が定員を満たした場合、秋学期の派遣留学生は募集しません。

（※7）デュッセルドルフ大学派遣留学生は、デュッセルドルフ大学と協定を結ぶ語学学校で語学コースを履修することができます(費用は自己負担)。

（※8）HSK3級を取得していない場合は、語学担当教員から語学力について証明をしてもらう必要があります。

大学院生向け協定校派遣留学について

文教大学の海外協定校のうち、下記の大学へ本学の大学院生を留学生として派遣する制度です。留学期間は本学の在学年数に算入され、そのうち1年までは修業年限に算入することができます。派遣先で修得した単位として認定を受けることができるため、2年間で卒業することも可能です。学納金については、基本的に、留学先大学の授業料は免除、本学への授業料及び教育充実費（2020年度10万円）の納入となります。

国	派遣先大学名	派遣人数	留学期間	本学出願条件
中国	北京外国語大学	2名以内（※1）	(春学期募集) 2021年3月から1または2セメスター	大学院言語文化研究科在学生で、出発(留学開始)時に1年以上本学に在学し、1ヶ年について修士課程は18単位以上、博士後期課程は4単位以上を修得した(もしくは修得見込の)者
			(秋学期募集) 2021年9月から1または2セメスター	

（※1）春学期募集・秋学期募集に派遣する人数は、合わせて計2名以内です。春学期募集で派遣人数が2名に達した場合、秋学期募集は実施しません。（※2）説明会開催時期及び募集時期は年度により異なります。必ず国際交流室へ確認してください。

協定校派遣留学生より



Risa Yamada

山田 梨紗 さん

文学部 中国語中国文学科4年

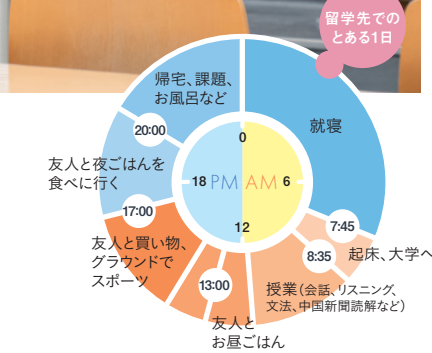
多国籍の人々との出会い

大学入学前から中国語を学んでいて、自分の中国語レベルを確かめたいという思いと長期間現地で生活したいという思いから留学を決意しました。留学前は会話力に自信がない上、現地に頼れる人もいなかったためとても不安でした。しかしそんな私を、韓国人のルームメイトがすぐに仲間に入れてくれました。その後もクラスメイトのイタリア人やボリビア人など、日本にいたら絶対に関われないであろう人々と交流することができました。中国語を使って多くの人々と交流できたことは、とても貴重な経験でした。海外で生活するのは失敗の連続ですが、チャレンジしたからこそその失敗です。不安もあるかとは思いますが、きっと多くの人が助けてくれるので、安心して一歩を踏み出してみてください。



留学準備から
現在までの流れ

- 1年生5月** 協定校派遣留学の説明会に参加、家族とも相談する。出願時の語学条件を満たすため、HSKを勉強、受験。語学条件をクリア。
- 2年生6月** 3年生春学期から留学を開始できるよう出願。選考に合格。
- 3年生2月** 留学先へ出発、留学開始。
- 3年生1月** 帰国。
- 現在4年生12月** 留学中の経験を活かし、卒業研究を進めている。将来は今回の経験を活かして世界を回り海外移住をして海外で仕事をしたい。



協定校派遣留学生より



Teppei Matsuyama

松山 鉄平 さん

国際学部 国際理解学科4年

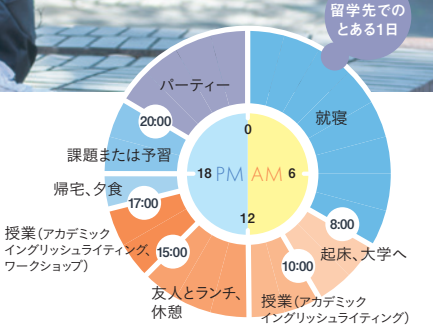
人とのつながりの大切さ

大学入学前から「留学しよう」と決めていて、大好きな映画のロケ地がたくさんあるということもあり、ニュージーランドへ留学しました。はじめの3月月はカンタベリー大学付属の語学学校で学び、グループワークやプレゼンテーションなどを行いました。7月から学部の授業を履修できることとなり、マオリ語、言語学などの授業を履修しました。勉強も必死に取り組みましたが、この留学で最も大きな財産となったのは、仲間との出会いです。留学中は多くの人に助けられ、アドバイスをもらいました。人との出会いや繋がりは留学の一番の醍醐味だと思います。留学して後悔はありません。みなさんも、とにかくやってみる、という気持ちを大切にしてください。



留学準備から
現在までの流れ

- 2年生8月** 語学試験のための講座に参加。
- 3年生3月** 語学条件をクリア。
- 3年生6月** 4年生春学期から留学を開始できるように出願
- 4年生3月** 留学先へ出発、留学開始。
- 4年生11月** 帰国。
- 現在4年生12月** 卒業研究、就職活動を進めている。





文学部外国語学科 短期留学 (通称:1セメスター留学)

越谷キャンパス KOSHIGAYA CAMPUS

- 【参加対象】 文学部外国語学科 2年生全員(必須)
- 【実施】 2年次の春学期(1セメスター)
- 【単 位】 留学先の成績、事前・事後課題及び英語能力テスト等に基づいて、16単位(16週プログラムのみ18単位)が認定されます。

留学先	
マレーシア	●アジアパシフィック大学
アイルランド	●UCSIカレッジ
アイルランド	●ダブリンシティ大学付属語学学校
ニュージーランド	●クライストチャーチカレッジ (カンタベリー大学連携校)
米国	●ミシガン州立大学付属語学センター
カナダ	●ブリティッシュコロンビア大学 付属語学学校
	●EAP国際センター (ケープブレトン大学連携校)
	●ランガラカレッジ
オーストラリア	●サザンクロス大学

2019年度 留学先別参加者数	
アジアパシフィック大学	14名
ダブリンシティ大学付属語学学校	20名
クライストチャーチカレッジ(カンタベリー大学連携校)	20名
ミシガン州立大学付属語学センター	2名
ブリティッシュコロンビア大学付属語学学校	13名
EAP国際センター(ケープブレトン大学連携校)	11名
ランガラカレッジ	7名
総数	87名

このプログラムは、文教大学文学部外国語学科2年次の春学期に、必修科目としてすべての外国語学科生が海外留学を体験するものです。アジア、ヨーロッパ、北米、オセアニアの英語圏で実践的に英語を学び、異文化理解を深めます。

※留学先は予定です。変更の可能性があります。



Ryotaro Hagiwara

萩原 涼太郎 さん

文学部
外国語学科2年

短期留学では、見るもの聞くものすべてが初体験の環境の中で、英語学習だけでなく、異文化理解など留学に行かないと経験できないものをたくさん経験することができました。語学学校でのある授業でのディスカッションの時に、同じクラスだったブラジル人の男性に言われた言葉が、「先に話していいよ。僕はあなたの英語が聞きたいんだ。恥ずかしがることは全くないよ。」でした。この言葉が留学生生活を大きく変えてくれて、授業の取り組み方が大きく変わりました。間違った文法を使ったらどうしよう?とばかり考えて、英語で話すことに躊躇していたのですが、とにかく思ったことを間違っても良いから伝える「積極性」をこの短期留学で学ぶことができました。



▲語学学校で撮ったクラスメートとの写真

認定留学

越谷キャンパス KOSHIGAYA CAMPUS

文学部 中国語中国文学科 中国語研修／認定留学プログラム

「認定留学」は、中国、台湾の認定校9校への自費による個人留学で、中国語を集中的に学ぶことができます。留学の時期は2年次秋学期から4年次春学期までです。出願条件に語学基準はありませんが、選考面接を実施しています。なお、2020年4月現在、82名の学生がこのプログラムに参加しました。

認定留学とは、学部教授会が学生の留学先として適当と認定した外国の大学に学長の許可を得て留学するプログラムです。留学期間は原則1セメスター(半期)で、大学構内の寮に滞在します。

※留学期間は本学の修業年限としてカウントされ、留学先で修得した単位も本学の単位として認定されますので、4年間で卒業することが可能です。
※本学および留学先の授業料等は自己負担となりますが、本学の教育充実費の一部が免除されます。

認定校	
中国	●首都師範大学(北京)
	●西安外国語大学(西安)
	●北京外国語大学(北京)
	●華東師範大学(上海)
	●南開大学(天津)
台湾	●同済大学(上海)
	●台湾師範大学(台北)
	●成功大学(台南)
	●政治大学(台北)

留学先別の参加者総数	
実施年数…19年間	
首都師範大学	34名
同済大学	22名
華東師範大学	10名
南開大学	5名
北京外国語大学	8名
台湾師範大学	3名
総数	82名

※2001年度から開始し、2019年度までの19年間で82名が参加しています。

国際学部 短期留学

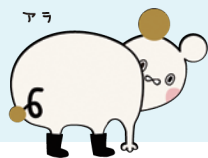
湘南キャンパス SHONAN CAMPUS

- 【参加対象】 国際学部在学学生
- 【実施】 2年次の春学期(1セメスター)
- 【参加条件】 1年次での単位修得状況や、指定された科目の履修および修得、事前指導への参加等が必要です。
- 【単 位】 留学先の成績、事前・事後課題等に基づいて、18単位が認定されます。

2020年度参加者数	
●モナシュカレッジ(オーストラリア)	19名
●オレゴン州立大学(アメリカ合衆国)	6名
●プリンスオブソングラ大学(タイ)	21名

留学先別参加者総数	
実施年数…19年間	
モナシュカレッジ	704名
オレゴン州立大学	560名
プリンスオブソングラ大学	87名
総数	1351名

※2001年度から開始し、2019年度までの19年間で、1351名が参加しています。



短期留学は英語運用能力向上と異文化コミュニケーション能力の養成、異文化理解および国際関係への認識を深めることを目的とした留学制度で、国際学部の正課教育の一環として位置づけられています。1セメスターの間(約3か月間)、本学が協定を結んでいる海外の教育機関、オーストラリアのモナシュカレッジ、アメリカ合衆国のオレゴン州立大学、タイのプリンスオブソングラ大学で勉強します。

※留学先で修得した単位は、文教大学の単位として認定されます。



Misato Matsuzawa

松沢 美里 さん

国際学部
国際観光学科4年

モナシュカレッジでは、中国人やサウジアラビア人の学生と一緒に授業を受けました。私のクラスは午前中に授業があったので、午後は市内のカフェ巡りやショッピング、学校のイベントに参加するなどして、とても充実した日々を過ごしました。ホストファミリーの誕生日をサプライズでお祝いしたことも、とてもいい思い出です。短期留学を通して、挑戦することを恐れなくなったことが、1番の変化でした。様々な活動を通して、外国人と交流することが楽しくなり、また外国の文化を受け入れ、日本の文化に誇りを持てるようにもなりました。卒業後は旅行会社へ就職予定のため、訪日観光客の方に日本が大好きになってもらえるようなツアーを作ることが、私の夢です。



▲ホストファミリーとレストランにて夕食

COLUMN 休学中の個人留学について

休学中の学生個人による留学等は、文教大学を学期単位で休学し、休学中に留学します。個人の留学になりますので、自分で留学先を探し、自分の目的に合わせた自分だけの留学体験ができる点が最大の魅力です。

休学して留学等を計画している学生の皆さんは、留学先等の選択や手続きは自分で行いますが、留学出発前の一般的な危機管理情報(海外留学保険の加入や渡航先の情報等)は、国際交流センター国際交流室で案内しています。是非、国際交流センター国際交流室にいらしてください。

※休学中の留学期間は本学の修業年限に加工されません。また、留学先で修得した単位や経験は、本学で単位認定はされません。
※休学中の学生個人の留学は、文教大学の公式プログラムではないため、留学にかかる手続きや緊急時対応などは、すべて自己責任となります。

休学期間中にアメリカ合衆国で 日本語教師インターンシップを経験した体験談

自分を変えることができた留学

大学へ入学前から、アメリカの大学で1年間教育を学ぼうとしていました。しかし調べてみると多くの留学先が200~300万円と費用が高く、とても自費で留学へはいけないと思っていたところで見つけたのが、日本語教師インターンシップでした。毎週行う漢字テストの問題作りや宿題の丸つけ、コメント書き等を行っていました。ホームステイ先の家族との生活の中では、キャンプに行ったり、スキーをしたりしました。留学前は、人前で英語を話すことが恥ずかしく苦手でしたが、今は英語だけでなく、様々な面で自信を持って人前に立てるようになりました。自分に合うプログラムを見つけたことにより、自分を成長させられたと思います。



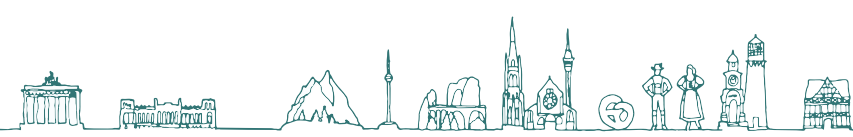
インターン最終日に
児童らと校庭で撮った写真



Airi Higa

比嘉 愛梨 さん

教育学部 学校教育課程 国語専修3年



アイコンについて

帯の色

教育学部

人間科学部

文学部

時期

夏季休暇中

冬季休暇中

春季休暇中

宿泊形態

ホームステイ

ホテル滞在

学生寮

船滞在中

引率

あり

クローズドプログラム
(越谷)



英米語英米文学科主管

第4回 マルタ夏期英語研修

3週間
(2020年8月上旬～8月下旬)

研修先: マルタ共和国マルタ島サン・ジュリアン
English Language Centre(EC)マルタ校

参加資格

●文学部生

単位認定

●文学部 学部共通科目
「外国語実地演習Ⅰ～Ⅷ」(2単位) ※1

人数

1～30名

費用

約50万円

英語のコミュニケーション力を伸ばすとともに、語学の効率的な勉強方法を学ぶ。海外文化(特にヨーロッパ文化・歴史)への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結びつけることを目的とする。

英米語英米文学科主管

第5回 マルタ春期英語研修

3週間
(2021年2月上旬～3月下旬)

研修先: マルタ共和国マルタ島サン・ジュリアン
English Language Centre(EC)マルタ校

参加資格

●文学部生

単位認定

●文学部 学部共通科目
「外国語実地演習Ⅰ～Ⅷ」(2単位) ※1

人数

1～30名

費用

約38万円

英語のコミュニケーション力を伸ばすとともに、語学の効率的な勉強方法を学ぶ。海外文化(特にヨーロッパ文化・歴史)への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結びつけることを目的とする。

語学研修

教育学部主管

第31回 アメリカ学校教育研修

2週間
(2021年2月中旬～3月上旬)

研修先: アメリカ合衆国
メリーランド州チャールズ郡
チャールズ郡教育委員会

参加資格

●教育学部生
●定員に余裕がある場合、
越谷キャンパス他学部の教職科目履修者

単位認定

●教育学部 学部共通科目
「海外教育研修」(1単位) ※1

人数

15～30名

費用

約39万円

人間科学部主管

第3回 ウォーリック大学
応用言語学センター短期研修プログラム

3週間
(2021年2月中旬～3月上旬)

研修先: 英国・コヴェントリー
ウォーリック大学
応用言語学センター

参加資格

●英語指導者を志望する教育学部生
●定員に余裕がある場合、英語指導者を
志望する越谷キャンパス他学部の
教職科目履修者

単位認定

●検討中

人数

20～30名

費用

約45万円

人間科学部主管

第16回 海外人間科学北欧研修
(スカンジナビア流スローライフ)

13日間
(2021年2月上旬～2月中旬)

研修先: フィンランド、スウェーデン
各種学校、福祉施設、
NPO、行政機関ほか

参加資格

●人間科学部 2年生以上

単位認定

●人間科学部 学部専門選択科目
「海外人間科学研修」(2単位) ※1

人数

15～36名

費用

約38万円

- アメリカの学校教育・教育制度等に関する理解を、実地見学・体験学習を通して深める。
- 現地の小・中学校で日本の文化や社会、日本語等に関して英語で教育実習を行い、その準備・実施を通して、日本の教育や言語・文化などに対する知見を深める。
- ホームステイや交流を通じてアメリカの文化・生活を体験し、国際的なコミュニケーション力を高める。

応用言語学センターでのアカデミックなプログラムを通して、参加者の英語知識・技能、異文化理解能力、英語指導能力を統合的に磨き、専門的資質・能力を高めること、またキャンパス内外での様々な体験を通して、思考力・判断力・表現力、自律性・協働性・省察性を育み、時代を生きる力となる人間力を高めること。

北欧の文化や教育・福祉・心理のあり方について実地を視察して理解を深め、日本について比較の視点から人間科学的に探求するための手がかりをつくる。

英米語英米文学科主管

第5回 マギル大学
英語・文化集中プログラム

6週間
(2021年3月上旬～4月中旬)

研修先: カナダ・ケベック州・モントリオール
マギル大学

参加資格

●文学部1～3年生

単位認定

●文学部 学部共通科目
「外国語実地演習Ⅰ～Ⅷ」(6単位) ※1

人数

1～60名

費用

約73万円

英語・文化集中プログラムへの参加を通じて、生活するために必要な言語スキルや文化を習得する。また、カナダとケベックの文化と歴史を学び、幅広い視野、柔軟な思考を身につける。海外への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結びつけることを目的とする。

英米語英米文学科主管

第5回 マギル大学
春期イマージョン・プログラム

4週間
(2021年2月下旬～3月下旬)

研修先: カナダ・ケベック州・モントリオール
マギル大学

参加資格

●文学部生

単位認定

●文学部 学部共通科目
「外国語実地演習Ⅰ～Ⅷ」(4単位) ※1

人数

1～60名

費用

約63万円

集中英語授業を通じて高い語学力、幅広い視野、柔軟な思考を身につける。放課後のプログラムに参加しながらカナダとケベックの文化と歴史を学ぶ。海外への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結びつけることを目的とする。



インターンシッププログラム

外国語学科主管

第3回 JEIC ツーリズム・
ホスピタリティ・プログラム

3週間
(2021年2月中旬から)

研修先: カナダ・バンクーバー
JTB International カナダ本社

参加資格

●文学部生

単位認定

●文学部 外国語学科専門科目
「インターンシップ」(1単位) ※1

人数

6～15名

費用

約40万円

外国語学科主管

第1回 エンデラン大学
夏期インターンシッププログラム

21日間
(2020年8月上旬～8月下旬)

研修先: フィリピン・マニラ
エンデラン大学

参加資格

●文学部生

単位認定

●文学部 外国語学科専門科目
「インターンシップ」(1単位) ※1

人数

1～40名

費用

約35万円

Project-Based Learning 研修

外国語学科主管

第1回 アテネオ・デ・ナガ大学(ADNU)
Project-Based Learning 研修

21日間
(2021年2月下旬～3月中旬)

研修先: フィリピン・ナガ／アテネオ・デ・ナガ大学

参加資格

●文学部外国語学科専門科目(Workshop for Project B)の
単位修得見込みもしくは単位修得済みの学生

単位認定

●文学部 外国語学科専門科目「海外実地研修Ⅰ」(2単位) ※1

人数

1～25名

費用

約25万円

外国語学科3年次対象専門科目「Workshop for Project B」において、研修先の社会・文化・環境に関して理解を深め、Project-Based-Learningを展開するための計画・準備を事前に十分に行った上で、フィリピンのアテネオ・デ・ナガ大学での研修に参加する。この研修を通して、参加した学生が文化、教育、並びに環境保護に関して、現地の学生と協働して、さまざまな体験をすることを目的とする。

外国語学科主管

マレーシアでの
Project-Based
Learning研修を
実施予定

※詳細は検討中。

日本語教育研修

日本語教育研究室主管

第17回 シドニー大学 日本語教育研修

2週間
(2020年8月下旬～9月上旬)

研修先: オーストラリア・シドニー
シドニー大学

参加資格

●「日本語教育実習Ⅰ」登録者
●言語文化研究科 大学院生

単位認定

●文学部 学部共通科目
「日本語教育実習Ⅰ」(2単位)
●言語文化研究科
「言語文化実地研究」(2単位) ※1

人数

6～18名

費用

約39万円

日本語教育研究室主管

第30回 中国日本語教育研修

3週間
(2021年2月下旬～3月中旬)

研修先: 中国・河北省秦皇島市
東北大学秦皇島分校語言学院

参加資格

●文学部3年生以上
(日本語教員養成コース履修者)
●言語文化研究科 大学院生

単位認定

●文学部 学部共通科目
「日本語教育実習Ⅱ」(2単位・3年生のみ) ※1
●言語文化研究科
「言語文化実地研究」(2単位)

人数

6～16名

費用

約17万円

- 英語母語話者(大学レベル)に対する日本語教育実習
- オーストラリアの日本語教育事情を知る。
- 現地の同世代との交流、および異文化体験をする。
- 異文化の中で日本語教育体験を持つ。
- 国際交流を体験する。同世代の中国の大学生との交流を図る。
- 異文化体験を通じて中国文化を知り、視野を広める。
- 中国の日本語教育事情を知る。



アイコンについて

帯の色

情報学部

国際学部

経営学部

時期

夏季休暇中

冬季休暇中

春季休暇中

宿泊形態

ホームステイ

ホテル滞在

学生寮

船滞在

引率

あり

※1 単位認定は、研修実施の次のセメスター以降に行う。
注)この海外研修企画には、一部未確定部分があり、場合によっては変更することもあります。

クローズドプログラム（湘南）



語学研修

情報学部主管

第9回 モンゴル 異文化理解・共生体験研修

8日間
(2020年8月～9月)

研修先:モンゴル・ウランバートル
モンゴル国立科学技術大学

参加資格

●情報学部生
(他学部・大学院情報学研究科の学生の参加も認める)

単位認定

●2014年度以降入学者:「海外研修A」または「海外研修B」(2単位)の履修となる。(情報学部以外の学部から参加する学生は、情報システム学科専門科目「海外研修A」または「海外研修B」の他学部履修となる。)
●情報社会学科2017年度以前入学者は、「学外実習A」/「学外実習B」の6ポイントの付与が認められる。情報社会学科2018年度以降の入学者で、選択科目である「学外実習」を履修した者は、6ポイントの付与が認められる。入学年度にかかわらず、これら付与の条件は、本海外研修プログラムの全ての活動に参加すること、学外実習の事前、事後レポートを提出することである。このポイント付与と、「海外研修A」/「海外研修B」の単位付与との同時申請はできない。※1

人数

4～20名

費用

約15～20万円

先進国を超える高い大学進学率による高度教育を実現し、日本の産業界との連携を強く期待するモンゴルは、我が国の優良かつ重要なビジネス・パートナー候補の1つである。アジアと欧州を繋ぐ要所にあり、溢れる大自然と近代化の間で生きる人達の生活に密着し、近くて遠い国「モンゴル」の異文化を理解する中で国際共生力を高める体験的学習を通して、21世紀高度職業人に求められる国際力の養成を目的とする。

情報学部主管

第11回 ベトナム文化・産業体験研修

8日間
(2021年2月～3月)

研修先:ベトナム社会主義共和国
ハノイ、ダナンまたはホーチミン FPT大学

参加資格

●情報学部生
(他学部・大学院情報学研究科の学生の参加も認める)

単位認定

●2014年度以降入学者:「海外研修A」または「海外研修B」(2単位)の履修となる。(情報学部以外の学部から参加する学生は、情報システム学科専門科目「海外研修A」または「海外研修B」の他学部履修となる。)
●情報社会学科2017年度以前入学者は、「学外実習A」/「学外実習B」の6ポイントの付与が認められる。情報社会学科2018年度以降の入学者で、選択科目である「学外実習」を履修した者は、6ポイントの付与が認められる。入学年度にかかわらず、これら付与の条件は、本海外研修プログラムの全ての活動に参加すること、学外実習の事前、事後レポートを提出することである。このポイント付与と、「海外研修A」/「海外研修B」の単位付与との同時申請はできない。※1

人数

9～20名

費用

約15～20万円

日本の産業界にとって優良かつ有望なマーケットであると同時に、製造業、情報サービス産業、観光業等多くの産業にとって、重要なビジネス・パートナーとなりつつある「ベトナムの土地と文化と産業」を学習し、人間力を高める学習を行うことを目的とする。

国際学部主管

第16回 ホスピタリティ・マネジメント研修

8日間
(2020年8月～9月)

研修先:マレーシア・アロースター/クアラルンプール/
ランカウィ/ペナンなど ウタラ大学

参加資格

●原則として、「国際理解論」もしくは「国際観光論」、および、言語科目(英語)8単位を修得済の国際学部生

単位認定

●国際学部「海外研修C(HM)研修」(2単位) ※1

人数

15～20名

費用

約20～30万円

1.国際ホスピタリティ・マネジメントに関する基本的知識の習得を目指す
2.ホスピタリティ産業の現場に触れる

国際学部主管

第10回 ニューヨーク国連研修

9日間
(2021年2月下旬～3月上旬)

研修先:アメリカ合衆国・ニューヨーク
ニューヨーク国連本部

参加資格

●原則として国際学部2年生以上
(ただし、場合によっては他学部生および1年生の参加を認める。)

単位認定

●国際学部「特殊講義A」(2単位) ※1

人数

10～20名

費用

約32万円

ニューヨークにある国連本部で、世界の諸問題の解決に向けて第一線で活躍する多国籍の国連職員から受けるブリーフィング(講義)や国連施設見学を通し、国連の活動を理解するとともに、ダイナミックに変化、かつ流動化している現代世界を、より深く知ることが本研修のねらいである。また、国連での学びに加え、現代の芸術の発信地であるニューヨークの文化施設、アメリカの歴史関連施設などの訪問や、米大学などの教育現場の視察、交流を通して視野を広げ、グローバル時代に生きる修養を積む。

経営学部主管

第4回 北米地域(ニューヨーク)研修

9日間
(2021年2月下旬～3月上旬)

研修先:アメリカ合衆国・ニューヨーク

参加資格

●原則として経営学部2年生以上
(ただし、場合により他学部生及び1年生の参加を認める。)

単位認定

●経営学部「海外研修」(2単位) ※1

人数

15～32名

費用

約30万円

北米の企業や商業活動、多国籍企業の活動や日系企業のビジネス展開などを現場見学することによって、アメリカやアメリカ人を幅広くなおかつ深く理解することともにアメリカでのビジネス活動に関する諸知識を習得し、卒業後において求められる経営者のグローバル適応力・判断力を養成することを、その目的とする。



オープンプログラム

国際交流センター主管

第25回 アジア研修

13日間
(2020年12月中旬～12月下旬)

研修先:バングラデシュ、マレーシア
※一部、タイ、シンガポールへの変更もあり得る

参加資格

●文教大学生(教育、人間科学、文学、情報、国際、健康栄養、経営)

単位認定

●人間科学部「海外人間科学研修」(2単位)
●国際学部「海外研修A(アジア研修)」(2単位)
●経営学部「海外研修」(2単位)

人数

15～27名

費用

約25～30万円

アジアの開発途上地域の社会や経済の実相に触れ、現地の人々とのつながり、関わりを考える。以下のキーワードについて体験を通じて参加者相互が学び合い、考察を深める。＜社会開発と教育、第三世界民衆の自立努力、アジアの多様な文化と言語、情報化社会、世界観の再考と視野の拡大、グローバル市民、食文化と人間、ソーシャルビジネス＞

国際交流センター主管

第16回 モナシユカレッジ春期集中英語研修

5週間
(2021年2月上旬～3月中旬)

研修先:オーストラリア・ビクトリア州・メルボルン市、
モナシユカレッジ・シティキャンパス

参加資格

●文教大学生(教育、人間科学、文学、情報、国際、健康栄養、経営)で、次のいずれかの語学基準を満たしている者
CASEC:500点以上、IELTS:4.0点以上、TOEFL-iBT:31点以上(TOEFL-PBT:397点以上)、TOEIC:400点以上、英検:準2級以上

単位認定

●文学部:学部共通科目「外国語実地演習Ⅰ～Ⅷ」(4単位)
●情報学部:2012年度以降入学生は情報学部外国語科目の英語科目から(計4単位)
(ただし、認定できる科目は、英語科目規程の履修順序に従うものとする。)
2007年度～2011年度入学生は外国語科目の選択英語科目から(計4単位)
●国際学部:2012年度以降入学生は選択言語科目の英語科目から(計4単位)
2008年度～2011年度入学生は「ESPⅣ」と「ESPⅤ」
●経営学部:経営学部外国語科目の英語科目から(計4単位)
(ただし、認定できる科目は、英語科目規程の履修順序に従うものとする。)*1

人数

2～15名

費用

約60～65万円

英語の研修、ならびに、オーストラリアの文化、生活に関する学びをホームステイ体験を通じて習得。

Australia
モナシユカレッジ
春期集中英語研修
1年次春季休業期間
5週間

英語圏に行くことに興味があり、両親に背中を押されて参加を決めました。授業では、中国・ベトナム・サウジアラビアの国から来ている留学生たちとペアワークやプレゼンテーションをしながら4つのスキルをバランスよく学ぶことができ、飽きることなく英語に触れることができました。滞在先のホストファミリーは、初めての環境の中で不安がいっぱいの私に優しく声を掛けてくれ、一緒に食事や観光をしてたくさんの思い出に残る経験ができました。この研修を通して、人と交流することの楽しさや何事にもチャレンジすることの大切さを学びました。いつか好きな映画に出てきた国に旅行をしたいので、これからも英語力を磨いていきたいです。

Mihono Masuda
増田 美朋乃 さん
情報学部
メディア表現学科2年
◀ホストファミリー・友人とディナー

言語文化研究科 (博士課程) 東アジア地域グローバル人材育成プログラム

この海外研修プログラムは、大学院言語文化研究科と北京外国語大学日語学院との教育連携による人材育成プログラムです。博士後期課程2年次以上が参加条件、研修期間は2週間以上6ヶ月以内。参加者は北京外国語大学を拠点に博士論文を作成するための資料等の実地調査および教育理論の実践・検証等の研究活動を行うことができます。



※本誌に掲載されている学生の学年は2019年度のものです。

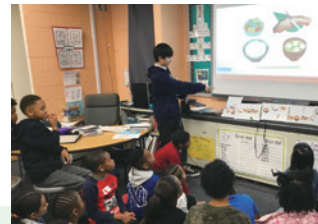
越谷キャンパス (教育学部・人間科学部・文学部) KOSHIGAYA CAMPUS



**アメリカ
学校教育研修**
2年次春季休業期間
2週間

人生を変える研修

大学の授業で日本の教育について学んでいくうちに、他の国の教育についても知りたいという気持ちが湧いてきました。そんな中、友人がこの研修の存在を教えてくれ、参加を決断しました。研修の前準備として、日本で指導案作りや教材研究など授業作りをします。先生方と何度も話し合いをし、日本語と英語で指導案を完成させます。入念に準備してきた授業が言葉の壁を越え、子どもたちにうまく伝わり楽しむ様子を見ていると、味わったことのない達成感が湧いてきました。将来は世界に目を向けることができる子どもを育てるために、今回学んだことを教育の現場で還元できたらと思っています。アメリカ学校教育研修は、人生を変える研修だと思います。



Yusuke Odo
大戸 雄介さん
教育学部 学校教育課程
家庭専修3年

▶日本食のマナーについての授業の様子



**海外人間科学
北欧研修**
3年次春季休業期間
13日間

日本の福祉・教育を充実させる

この研修では、社会教育施設や高齢者のグループホーム等への訪問やストックホルム大学の日本語の講義への参加等を行いました。特に心に残ったのは認知症の方のグループホームの視察です。そこで働く方は自分の仕事に誇りを持ち、施設利用者の方々に敬意を払って接しており、その姿に感動しました。また、中高一貫校の授業参観は型にとられない机椅子の配置や、使用する教材が非常に勉強になりました。研修での経験を活かし、将来は小学校教諭として、子どもたちが意欲的にのびのびと学べる環境づくりに尽力したいです。私は研修に参加して、自分の将来を考えることがとても楽しくなりました。福祉や教育に興味のある方は、ぜひ参加してほしいです。



Maho Kusakabe
日下部 真帆さん
人間科学部
人間科学科 4年

▶スウェーデンで小中一貫校の子供たちと折り紙



**イギリス語学
文化研修**
2年次春季休業期間
3週間

異国文化を体験する

この研修は、平日は午前中に学校、午後は自由行動。休日は終日自由行動でした。自由な時間が多く、自分の趣味をきっかけに文化や歴史に触れることができました。研修中訪れた中でも、ラグビーの聖地 Twickenham Stadium は別格でした。スタジアム内を見学できるツアーにも参加することができ、普段入れない選手のロッカールーム、VIP ルーム、グラウンドやベンチも見学できました。夢なのではと疑うくらい感動したのを覚えています。それ以外にも、食事やファッション等、様々なイギリス文化に触れることができました。様々な文化や習慣を体験したことで、日本の良いところ気づけるようになりました。将来は英語の教師として、ただ英語を教えるだけでなく、この経験を授業の中で伝えていけたらと思います。



Hikaru Shinkai
新開 輝さん
文学部
英米語英米文学科 3年

▶Twickenham Stadium前にて

湘南キャンパス (情報学部・国際学部・経営学部) SHONAN CAMPUS



**モンゴル異文化理解・
共生体験研修**
3年次夏季休業期間
8日間

視野を広げるきっかけに

研修中はモンゴル国立科学技術大学（以下 MUST）の学生と交流します。モンゴル文化の紹介を受けたり、自分たちが日本文化について発表をしたり、一緒に観光するなどして親交を深めることができたことは、大切な思い出の一つとなりました。MUST の学生たちと話をしていると、彼らは自国についてよく考えていることが分かります。恵まれた環境にある日本にいたら考えられないようなことを、改めて考えるきっかけとなりました。日本から少し出るだけで、たくさんの刺激を受けることができます。ゲルホテルでのキャンプ宿泊時に草原から見た星空は、今まで見たどんな星空よりも広く感じました。この研修では、旅行とはまた違った経験ができます。



Kayano Nagai
長井 茅野さん
情報学部
メディア表現学科3年

▶ゲルホテルキャンプ場にてモンゴル文化の体験



ニューヨーク国連研修
2年次春季休業期間
9日間

大学での学びの基盤となった研修

この研修では、国連で働く職員の方から直接お話を伺うことができます。国連職員の方の出身国は様々で、それぞれ特有の英語の訛りがあり、国連が世界規模で活動する組織であることを実感しました。中でも、国際防災戦略事務局担当の方から「Disaster Risk」についての話を聞いて防災・減災への興味がわき、帰国後、大学の授業や外部での活動のなかでこのテーマについて取り扱うようになり、私の学びの基盤となりました。将来は、防災・減災に関係する仕事に就けたらと考えています。



Erina Kobayashi
小林 英里奈さん
国際学部
国際理解学科3年

▶国連内部にて



**北米地域
(ニューヨーク) 研修**
1年次春季休業期間
10日間

将来の「働く」をイメージできる研修

高校生の時にグローバル化についてプレゼンをしたことがきっかけで、アメリカの国民性や企業の規模についての日本との違いに興味があり、自分の目で確かめてみたいと思いこの研修に参加しました。ニューヨークにオフィス構える 11 社とコロンビア大学のビジネススクールの計 11 社 1 大学を訪ねし、日本人の「働く」というイメージがアメリカでは少し異なることが大きな発見でした。企業のスケールの大きさと従業員への待遇の厚さが印象的な企業があり、将来はこのような企業で働きたいという目標ができたので、それに向けて情報収集や英語力アップに努めています。知りたいことや興味があることを明確にし、常にアンテナを張り巡らせることが大切だと感じました。



Rikuto Shimizu
清水 陸渡さん
経営学部 経営学科2年

▶カフェの店長とツーショット



※本誌に掲載されている学生の学年は2019年度のものです。

越谷キャンパス (教育学部・人間科学部・文学部) KOSHIGAYA CAMPUS

国際交流フェア

越谷キャンパスでは例年国際交流フェアを開催し、海外留学や海外研修プログラムの紹介や体験談報告などを行っています。学生の皆さんの国際交流への興味関心を高め、また、留学生との交流が活発になるような企画を検討しています。



海外協定校からの受け入れ

文教大学では、海外協定校から交換留学生の受け入れを行っています。交換留学生は1～2セメスター本学に留学し、皆さんが学ぶキャンパスで共に過ごします。また、越谷キャンパスの交換留学生は、地域の小学校でのボランティアや越谷市のイベントなどにも参加し、学外でも積極的に活動しています。



韓国日本語学研修

本研修は2019年度で14回目になる短期(約2週間)の研修プログラムです。毎年6月下旬から7月上旬の2週間、韓国極東大学の学生が日本に滞在し、本学学生と交流を行います。2019年度は授業終了後に両大学の学生、教職員が集まり、盛大に交流会が行われました。

留学生ウェルカムランチ

文学部では、毎年4月と9月に新入生と海外協定校交換留学生の歓迎会「ウェルカムランチ」を行っています。このイベントは文学部長が主催しており、留学生、教職員それぞれが自己紹介を行い、交流を深めています。



外国人留学生別科

外国人留学生別科とは、日本の大学等への進学を目指す留学生のための1年間の日本語教育課程で、越谷校舎の11号館に所在しています。中国からの留学生が多いのですが、近年、東南アジアからの留学生も加わり、休み時間になると国際交流ラウンジにて様々な言語が飛び交う国際色豊かな光景が繰り広げられています。新入生歓迎スポーツ大会などの学校行事にも参加することができるので、学部留学生や日本人学生とも交流できます。また、夏には浴衣を着て花火大会に行ったり、冬には茶道、着物の着付け体験など日本文化に触れる機会を設けています。授業では、日本語を学ぶ科目だけではなく、受験に必要な様々な科目を勉強しています。各学期の授業終了時には、日々の日本語学習の集大成として、日本語での劇を披露したり、Power point等を使用して学習発表会を行っています。このように本学で1年間学習し、それぞれの進路に進みます。別科の留学生と交流したい方は、ぜひ11号館の外国人留学生別科にお立ち寄りください。



▲別科生集合写真

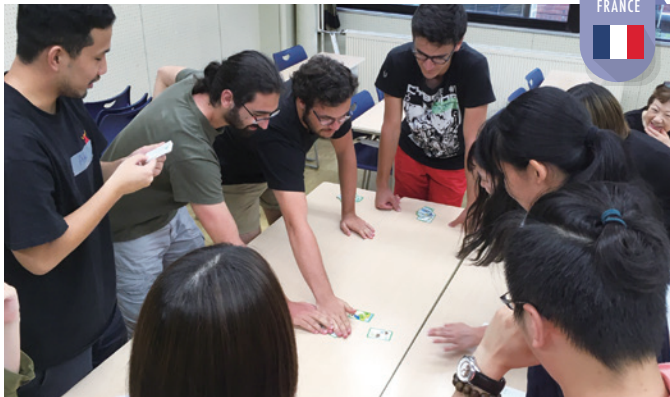
国際交流ラウンジ



11号館1階・国際交流室の隣には、誰でも自由に利用することができます「国際交流ラウンジ」があります。お昼休みには、学部生・大学院生・研究生として文教大学で学んでいる留学生、海外協定校からの交換留学生、さらには外国人留学生別科で日本語を学んでいる留学生と日本人学生で大変賑わっています。時には学生と教員が会話するスペースになったりと、気軽に使っていただけます。お時間のある際にぜひ立ち寄りみてください。

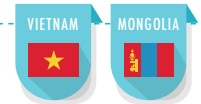
湘南キャンパス (情報学部・国際学部・経営学部) SHONAN CAMPUS

フランスの大学生来校



毎年7月、母国で日本語を勉強しているフランスの大学生が日本を訪れ、茅ヶ崎市内でホームステイをしながら日本での生活を体験します。文教大学では、毎回学生が主体となって日本文化を紹介するプログラムを企画し、お互いの共通語として英語を用いて交流をしています。

ベトナムFPT大学・モンゴル国立科学技術大学から学生招聘



毎年秋の約1週間、情報学部による招聘事業の一環として、ベトナムFPT大学とモンゴル国立科学技術大学の学生が本学を訪問します。訪問中は、授業や学園祭に参加して交流を深めています。



▲茶道の体験

越谷・湘南キャンパス

KOSHIGAYA・SHONAN CAMPUS

留学生向けチューター制度の実施

文教大学では、留学生の学生生活を支援するとともに、校内での国際交流活動活性化のため、チューター制度を設けています。日本人学生が留学生のチューターとなって、留学生の文教大学での学習や学生生活全般にあたりアドバイスをし、話し合いながら、留学生が環境に適應できるようサポートします。留学生と日本人学生がお互いの文化や言語を知るよい機会にもなっています。

留学生のためのイベント

湘南キャンパス留学生委員会では、留学生が文教大学でより充実した学生生活を送れるよう、毎年春に食事会「留学生の集い」、秋には「留学生研修旅行」を実施し、留学生と日本人学生、教職員の親睦を深めるとともに、学生生活に役立つ情報交換の場を提供しています。



【実施時期】5月頃 【開催場所】学生食堂



【実施時期】10・11月頃
【実施内容】神代植物園、川崎市日本民家園(2019年度)

留学生研修旅行参加者からメッセージ

親睦を深めた研修旅行

留学生や先生方、いつも優しくお世話してくれるチューターと一緒に、日帰りの留学生研修旅行に参加しました。初めに到着した神代植物公園では、バラ園や大温室を散策し、たくさんの花や植物を見ることができ、チューターの日本人学生と一緒に写真を撮ったりして楽しめました。お昼はみんなで深大寺にあるお蕎麦屋さんに入りました。その後、川崎市日本民家園へ行き、人生で初めてハンカチ藍染め体験をしました。留学生研修旅行を通して普段会う機会の少ない他学科や先輩の留学生達とたくさん交流し、有意義な時間を過ごすことができました。

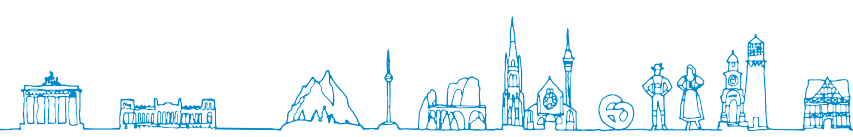


▲人生初の藍染体験

2019年度 留学生研修旅行参加者

ヴェンネルグルンド ヨハンナ マリアさん
情報学部 メディア表現学科 1年





危機管理オリエンテーション開催

海外に渡航する学生・教職員(海外研修引率者を含む)にとって、海外旅行や海外研修の際の危機(リスク)把握と対応は、年々大きな課題となっています。海外リスクマネジメントに取り組む上で重要なことは、学生・教職員の危機意識を高め、予測しうるリスクに対し、可能な限り事前に対策を講じておくことが挙げられます。国際交流センターでは、海外渡航にあたり、各人各部署がどのようなリスクがあるか、それに対しどのような準備をしておくべきかを考えるために、危機管理オリエンテーションを企画しています。このオリエンテーションは、海外渡航者向けの一般的な危機管理に関する情報提供を行い、学生・教職員の危機意識を高めるために毎年開催されています。

◆開催時期
春学期:7月頃、秋学期:1月頃

※2020年度の開催日時は掲示にて連絡します。



危機管理オリエンテーション(越谷キャンパス)の様子

語学支援

越谷キャンパス

越谷キャンパスには、11号館1階に「多言語学習室」があります。この部屋には英語や中国語、コリア語などの語学教材や書籍、ビデオ、DVD、新聞、雑誌などがあり、自由に閲覧することができます。また、週に数回、ネイティブ教員による語学講座を実施し、昼休みや授業の空き時間は、外国語を使って留学生と交流する学生でにぎわっています。越谷キャンパス所属の学生はどなたでも利用できます。ぜひ一度足を運んでみてください。

◆場所:越谷キャンパス
11号館1階
◆開室:9時~17時(月~金)



湘南キャンパス

湘南キャンパスには、Language Garden(外国語学習ラウンジ)という教室があります。英語をはじめとした外国語の雑誌やDVDを見たり、本を読んだり、先生や友達とお喋りをしながら楽しく外国語を学習できる場所です。ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなどの季節イベントも開催されています。どなたでも気軽に利用できますので、自由にお入りください。

◆場所:湘南キャンパス
6号館2階
◆開室:9時~18時30分
(月~金)



留学・海外研修等に係る減免及び奨学金・奨励金

下記の減免及び奨学金等は、条件を満たした方のみ対象です。申請手続き等については、国際交流室に確認してください。

【協定校派遣留学生への支援】 ※大学院を含む

対象となる海外協定校名	支援内容	
各派遣留学先大学	留学先大学の授業料免除	海外協定校派遣留学制度で留学する学生は、協定に基づき、原則として留学先大学の授業料が免除されます。 【免除額】 給付型:留学当該セメスターの授業料及び教育充実費の一部 ※派遣留学先の授業料が本学に納入すべき学納金を超えることが留学前にわかっている場合は、本学の授業料が免除され、派遣先大学の授業料を納入します。
デュッセルドルフ大学	松永日独国際交流奨学金	本学の元教員の寄付により、デュッセルドルフ大学と文教大学の交換留学制度の継続を援助するため設立された奨学金です。 【奨学金金額】 給付型:1名につき30万円または60万円(年度内の派遣人数により、支給金額が異なります)
エドモンズコミュニティカレッジ(EdCC)	EdCC協定校派遣留学援助金	EdCCとの協定に基づき、EdCCから本学にコミッションがある場合、そのコミッションが学業のため留学生に援助金として支給されるものです。 【援助金金額】 給付型:留学時の協定内容やレートにより異なる

【短期留学参加者】

対象となるプログラム名	支援内容	
文学部外国語学科 国際学部 短期留学	短期留学に係る補助	文学部外国語学科短期留学または国際学部短期留学に参加した学生のうち、学納金以外の経費を海外の教育機関に支払った成績優秀な学生に対する補助です。 【補助金額】 1名につき10万円 ※選考があります。

【その他の支援】

対象となるプログラム名	支援内容
JASSO海外留学支援制度 (協定派遣)	日本学生支援機構(JASSO)が実施する返済不要の奨学金制度です。 ※支給金額は派遣する地域や期間によって異なります。 ※2020年度のみ一部のプログラムで適用されます。2021年度以降の内容は未定です。
文教大学学園前田学術研究奨励金	本学園に在籍する学習者の英語能力向上を目的とし、英検・TOEFL・TOEICで所定の基準を満たした学生に対し奨励金を支給する制度です。 ※詳細は、越谷校舎は学生課、湘南校舎は教育支援課へ確認してください。

外国人留学生・外国人留学生別科生・交換留学生への減免及び奨学金

下記の減免及び奨学金等は、条件を満たした方のみ対象です。申請手続き等については、国際交流室に確認してください。

私費外国人留学生向け	学部生	文教大学 私費外国人留学生特待生	学業と人物が優秀な学生に対し、その人材確保と入学後の経済的負担を軽減することを目的とした制度です。 【支援内容】 若干名 入学金免除、給付型:月額3万円
		文教大学 私費外国人留学生に対する奨学金	外国人留学生の留学に係る活動を助成することを目的とした制度です。 【対象】 私費外国人留学生のうち、人物、学業が優秀で奨学金の給付を適当と認められる者 【支援内容】 給付型:月額3万円
		私費外国人留学生の 学納金減免	経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生の経済的負担を軽減し、修学を推奨することを目的とした制度です。 【支援内容】 当該年度授業料の3割を限度に減免
大学院生		文教大学大学院 私費外国人留学生に対する奨学金	外国人留学生の留学に係る活動を助成することを目的とした制度です。 【対象】 私費外国人留学生のうち、人物、学業が優秀で奨学金の給付を適当と認められる者 【支援内容】 給付型: 年度により異なる。
		文教大学大学院 私費外国人留学生の学納金減免	経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生の経済的負担を軽減し、修学を推奨することを目的とした制度です。 【支援内容】 当該年度授業料の3割を限度に減免
外国人留学生 別科生		文教大学外国人留学生別科奨学金	学業と人物が優秀且つ本学園の大学、大学院のいずれかに進学を予定している学生に対し、進学後の経済的負担を軽減することを目的とした制度です。 【支援内容】 若干名 給付型: 年度により異なる。
交換留学生(受入れ)向け	学部生	松永日独国際交流奨学金	本学の元教員の寄付により、デュッセルドルフ大学と文教大学の交換留学制度の継続を援助するため設立された奨学金です。デュッセルドルフ大学への派遣留学生及び交換留学生(受入れ)に支給されます。 【奨学金金額】 給付型:1名につき30万円または60万円(年度内の派遣人数により、支給金額が異なります)
	学部生・大学院生	本学の学納金免除 アジアからの交換留学生に 対する住居補助	協定に基づき、原則として文教大学の授業料が免除されます。 【免除額】 給付型:留学当該セメスターの入学金、授業料、教育充実費 アジアの国・地域からの交換留学生に対して住居に係る経費の一部を補助し、本学への留学の可能性を広げ、今後ますます重要となるアジアの大学及び学生との交流の深化及び活性化を図ることを目的とした補助です。 【支援内容】 給付型:住居費の50%または75%が補助されます。出身地域により異なります。

COLUMN 留学ってどんな場面でお金が必要?

留学を考えるうえで、気になるのは資金計画です。実際に留学した先輩方がどんな場面でお金を使用したのか、項目を集めてみました。

- 往復航空券(燃油サーチャージや諸税含む)
- 現地交通費
- 食費等の生活費
- パスポートや査証の申請手続き
- 海外留学保険
- 通信費(携帯電話やWi-Fi)
- 授業料、教材費
- 寮費や光熱費等の現地滞在費
- お土産や友人と食事する際の際費 などなど...

その他、例えば現地で使用するパソコン等の電子機器やスーツケースを用意したりと、身の回りの物を一から揃えようとすると、それなりの金額がかかることもあります。留学費用はその人の生活スタイルによって多種多様ですが、「留学はお金がかかるもの」だときちんと理解し、資金計画は慎重に立てることをお勧めします。



09 データで見る文教大学の国際交流

文教大学では、年間300名以上の学生が、本学の海外研修や留学制度を活用して、海外に渡航しています。
そして、キャンパスには130名を超える留学生が学んでいます。

2018年度海外送出し学生数

プログラム名	期間	主管部署	派遣先大学または研修名	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部	小計	合計	
海外協定校 派遣留学	1～2 セメスター	国際交流 センター	カンタベリー大学	0	0	0	0	0	-	0	0	11	
			デュッセルドルフ大学	0	0	0	0	1	-	0	1		
			南開大学	0	0	0	0	0	-	0	0		
			北京外国語大学	0	0	0	0	1	-	0	1		
			北京師範大学珠海分校	0	0	0	0	0	-	0	0		
			華東師範大学*	0	0	1	0	0	-	0	1		
			韓国外国語大校*	0	0	1	0	1	-	0	2		
			韓国極東大校	0	0	0	0	0	-	0	0		
			誠信女子大校*	0	0	1	0	1	-	0	2		
			FPT大学	0	0	0	0	1	-	0	1		
			エドモンズコミュニティカレッジ	0	0	1	0	2	-	0	3		
認定留学	1セメスター	文学部	中国(9校)	-	-	1	-	-	-	-	1	1	
文学部 短期留学	1セメスター	文学部 外国語学科	アジアパシフィック大学	-	-	5	-	-	-	-	5	79	
			USCカレッジ	-	-	10	-	-	-	-	10		
			ダブリンシティ大学付属語学学校	-	-	26	-	-	-	-	26		
			クライストチャーチカレッジ(カンタベリー大学連携校)	-	-	13	-	-	-	-	13		
			ミシガン州立大学付属語学センター	-	-	4	-	-	-	-	4		
			ブリティッシュコロンビア大学付属語学学校	-	-	13	-	-	-	-	13		
			EAP国際センター(ケープブレトン大学連携校)	-	-	8	-	-	-	-	8		
国際学部 短期留学	1セメスター	国際学部	モナシュカレッジ	-	-	-	-	29	-	-	29	62	
			オレゴン州立大学*	-	-	-	-	13	-	-	13		
			プリンスオブソノクラ大学*	-	-	-	-	20	-	-	20		
海外研修	約1週間～ 1ヶ月	国際交流 センター	アジア研修(中止)	-	-	-	-	-	-	-	0	224	
			モナシュカレッジ春期集中英語研修	0	0	1	1	5	0	1	8		
			アメリカ学校教育研修	30	-	-	-	-	-	-	30		
		教育学部	ウォーリック大学応用言語学センター短期研修プログラム	21	-	-	-	-	-	-	21		
		人間科学部	海外人間科学北欧研修	-	31	-	-	-	-	-	31		
			中国日本語教育研修	-	-	11	-	-	-	-	11		
			シドニー大学日本語教育研修*	-	-	9	-	-	-	-	9		
		文 学 部	イギリス語学・文化研修	-	-	26	-	-	-	-	26		
			マギル大学英語・文化集中プログラム	-	-	5	-	-	-	-	5		
			マギル大学夏期イマージョン・プログラム	-	-	1	-	-	-	-	1		
			マギル大学春期イマージョン・プログラム	-	-	1	-	-	-	-	1		
			マルタ夏期英語研修	-	-	2	-	-	-	-	2		
			マルタ春期英語研修	-	-	12	-	-	-	-	12		
			中国短期語学文化研修	-	-	11	-	-	-	-	11		
			JEICツーリズム・ホスピタリティ・プログラム	-	-	1	-	-	-	-	1		
		情報学部	ベトナム文化・産業体験研修	-	-	-	15	2	1	-	18		
			モンゴル異文化理解・共生体験研修(中止)	-	-	-	-	-	-	-	0		
		国際学部	ホスピタリティ・マネジメント研修(中止)	-	-	-	-	-	-	-	0		
			リゾート・マネジメント研修	-	-	-	-	19	-	-	19		
			英国カルチュラル・ツーリズム&英語研修(中止)	-	-	-	-	-	-	-	0		
			ニューヨーク国連研修	-	-	-	-	12	-	-	12		
		経営学部	北米地域(ニューヨーク)研修	-	-	-	-	-	-	-	6		6
			韓国経済・社会・文化体験研修(実施なし)	-	-	-	-	-	-	-	-		0
				51	31	164	16	107	1	7	377		

*1:留学出発は、前年度中に出発しているが、2018年度実績数としてこの表に含む。 *2:2018年度は、シドニー大学語学研修に大学院言語文化研究科の学生1名が参加した。

海外協定校派遣留学者数

西暦	カンタベリー 大学	デュッセル ドルフ大学	韓国 外国語大学校	韓国 極東大学校	北京 外国語大学	誠信女子大学校	FPT大学	北京師範大学 珠海分校	華東師範大学	南開大学	エドモンズ コミュニティ カレッジ	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1996	2	文1、国1	0		—	—	—	—	—	2	文1、国1	—	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1997	1	国1	0		—	—	—	—	—	2	文2	—	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1998	1	国1	1	国1	—	—	—	—	—	1	文1	—	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1999	0		1	文1	—	—	—	—	—	1	文1	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2000	0		1	国1	—	—	—	—	—	2	文2	—	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2001	1	国1	2	人1、国1	—	—	—	—	—	2	文2	—	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2002	1	国1	0		—	—	—	—	—	1	文1	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2003	0		2	文1、国1	—	—	—	—	—	0	—	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2004	0		0		—	—	—	—	—	2	文2	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2005	1	文1	1	文1	—	—	—	—	—	0	—	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2006	0		1	文1	—	—	—	—	—	1	文1	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2007	0		1	国1	—	—	—	—	—	2	文2	—	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2008	0		1	人1	—	0	—	—	—	0	—	—	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2009	0		0		—	0	—	—	—	2	文2	3	文3	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2010	0		1	国1	—	1	国1	—	—	1	文1	0	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2011	0		1	文1	1	国1	0	—	—	0		1	文1	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2012	0		0		0	0	—	—	—	1	文1	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2013	0		0		1	情1	0	2	文2	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2014	0		0		2	国2	0	1	文1	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2015	0		0		0		0	2	文1、国1	1	文1	1	国1	—	—	1	文1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2020年度出発者向け 海外協定校派遣留学生募集説明会参加者数・出願者数・合格者数

募集対象	説明会参加者		学内出願者数		学内合格者数
	越谷	湘南			
春学期募集	78	37	北京外国語大学	1	1
			韓国外国語大学校	3	2
			誠信女子大学校	1	1
秋学期募集	25	22	北京外国語大学	2	1
			華東師範大学	1	0
			誠信女子大学校	1	1
			エドモンズコミュニティカレッジ	3	3

(2020年2月現在)

2019年度私費外国人留学生数・外国人研究生数・外国人留学生別科生数

所属別外国人留学生数

	学部・研究科名等	人数	計
学部生	教育学部	0	66
	人間科学部	0	
	文学部	16	
	情報学部	15	
	国際学部	26	
	経営学部	9	
大学院生	人間科学研究科	0	31
	言語文化研究科	19	
	教育学研究科	1	
	情報学研究科	6	
	国際学研究科	5	
	文学部	1	
研究生	文学部	8	11
	情報学部	1	
	言語文化研究科	1	
外国人留学生別科		26	26
合計		134	

*上記学生数は、2019年5月1日現在在留資格「留学」を有する者となります。

出身国別留学生数(学部生)

出身国	人数
中国	51
中国(香港)	1
韓国	7
台湾	2
ベトナム	2
タイ	1
インドネシア	1
スウェーデン	1
合計	66

出身国別留学生数(大学院生)

出身国	人数
中国	31

出身国別留学生数(外国人留学生別科)

出身国	人数
中国	16
台湾	5
韓国	1
ベトナム	1
イラン	1
インドネシア	2
合計	26

交換留学生受け入れ数(学部生)

西暦	カンタベリー 大学	デュッセル ドルフ大学	韓国 外国語大学校	韓国 極東大学校	北京 外国語大学	誠信女子 大学校	FPT大学	北京師範大学 珠海分校	華東 師範大学	計
1997	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
1998	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
1999	4月	1	1	-	-	-	-	-	-	2
2000	4月	0	0	-	-	-	-	-	-	0
2001	4月	1	0	-	-	-	-	-	-	1
2002	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
2003	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
2004	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
2005	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
2006	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
2007	4月	1	2	-	-	-	-	-	-	3
2008	4月	1	2	-	2	-	-	-	-	5
2009	4月	1	2	-	2	-	-	-	-	5
2010	4月	0	2	-	2	-	-	-	-	4
2011	4月	1	1	0	0	-	-	-	-	2
2012	4月	1	2	0	2	-	-	-	-	5
2013	4月	1	2	1	2	0	-	-	-	6
	9月	0	0	0	0	2	-	-	-	2
2014	4月	0	2	0	2	0	-	-	-	4
	9月	0	0	0	0	2	-	-	-	2
2015	4月	1	2	2	0	1	2	-	-	10
	9月	0	0	0	0	2	1	0	-	3
2016	4月	0	2	2	2	0	2	0	-	10
	9月	0	0	0	0	0	0	2	-	4
2017	4月	1	2	0	2	0	2	0	0	9
	9月	0	0	0	0	1	0	2	2	5
2018	4月	1	2	0	2	0	1	0	0	6
	9月	0	0	0	0	2	1	2	2	7
2019	4月	1	2	2	2	0	0	0	0	7
	9月	0	0	0	0	2	0	1	1	4
2020	4月	1	0	2	2	0	1	0	0	6
計		20	40	9	24	13	7	8	5	133

交換留学生受け入れ数(大学院生)

西暦	北京 外国語大学	計
2016 9月	1	1
2017 9月	2	2
2018 9月	0	0
2019 9月	1	1
計	4	4